ICOM 取扱説明書

同軸避雷器

FL−419

このたびは、FL-419をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
- **次の『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**下記の事項を守らないと、けがの原因になります。**
- 足場の不安定なところで、設置工事をしないでください。
- 人の通行をさまたげる場所には、設置しないでください。
- **高所から本製品の部品や工具類を落とさないでください。**
- 設置や点検は、風雨、雷、雪などの天候の悪い日は、危険ですので作業をしないでください。

◎**下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。**
- 同軸ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
- 同軸ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

◎**雷が発生したら、本製品と接続された機器や同軸ケーブル、アンテナには、絶対にさわらないでください。**
感電事故の原因になります。

◎**アース線は、ガス管や水道管に接続しないでください。**
火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎**雷が発生したら、屋外での設置作業を行わないでください。**
火災、感電の原因になることがあります。

◎**落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。

◎**電力保安用アースなどと共用しないでください。**
また、ほかのアース回路となるべく隔離してください。
故障の原因になることがあります。

◎**テレビやラジオの近くで使用しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

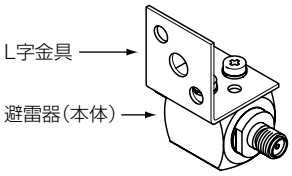
◎**本製品を分解しないでください。**
けが、感電、故障、電波障害の原因となることがあります。

■ 特 長

- 一定電圧以上のサージ電圧が生じると、放電して接地するガス封入式のサージ･**アレスター素子を内蔵していますので、**極めて安全性に優れています。
- サージ･アレスターは、一定電圧で放電･**復帰を繰り返し動**作します。
- 同軸管構造ですので、高周波特性が良く、広帯域、低損失、低V.SWRです。
- JIS保護等級5(防噴流形)の防水性能に対応しています。
- 2008年2月現在、SE-570FW、SB-510EA、AP-510W、SE-510W、SB-5100、SB-5500に対応しています。
※SB-5100PA、SB-5500PAには対応していません。

■ 外観図

避雷器に取り付けられたL字金具は、取り付けやすい方向に付けなおしてから、マストや壁面に固定してください。

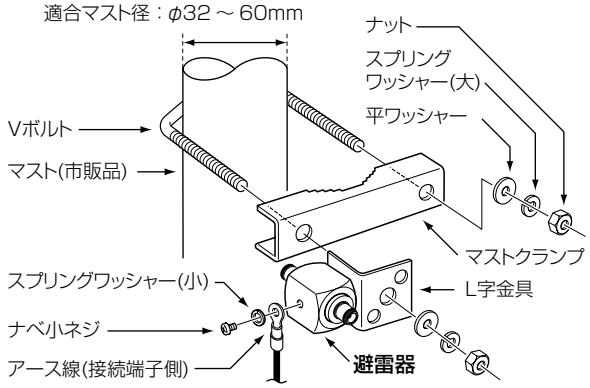


■ 標準構成品

- 避雷器(L字金具付き) …… 1
- 同軸ケーブル(50cm：5D-SFA) …… 1
- アース線(1.5m：接続端子付き) …… 1
- 自己融着テープ(15cm) …… 1
- Vボルト …… 1
- マストクランプ …… 1
- 平ワッシャー …… 2
- スプリングワッシャー(大) …… 2
- スプリングワッシャー(小) …… 1
- ナット …… 2
- タッピングネジ …… 2
- ナベ小ネジ …… 1

■ マストへの取り付けとアース線の接続方法

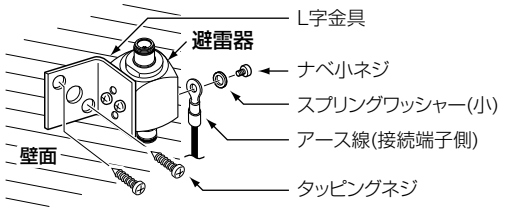
下図を参考に、避雷器と付属のアース線をマストに取り付けてください。



■ 壁面への取り付けとアース線の接続方法

① 避雷器に付属のアース線を接続します。

② 避雷器が不用意に動かないようにL字金具を建物の壁面などに付属のタッピングネジを使用して、確実に固定してください。



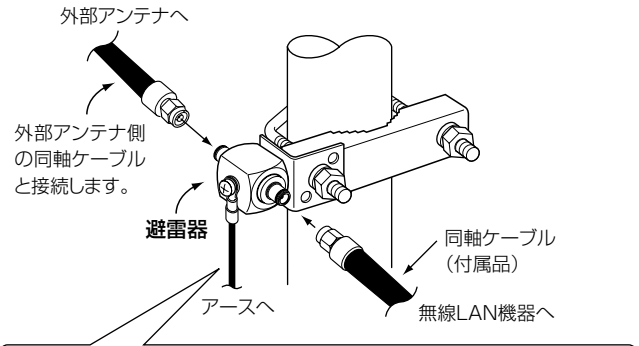
※同軸ケーブルを接続しますので、しっかりとした壁面に固定してください。

※L字金具は、避雷器を固定する以外の用途には使用しないでください。

【ご注意】
避雷器という性格上、落雷時の火災を考慮した場所に設置してください。

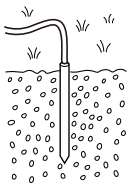
■ 機器との接続方法

下図を参考に、無線LAN機器と外部アンテナを避雷器に取り付けてください。



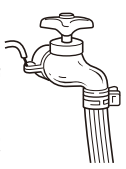
YES!

銅製などの金属棒をアース線の先に取り付ける。



NO!

水道管やガス管には、アース線を絶対に接続しないでください。

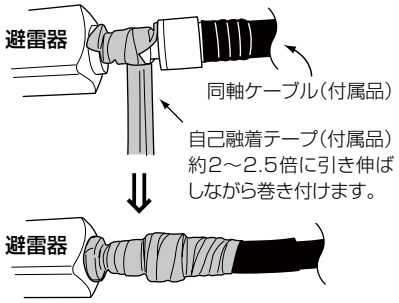


■ 自己融着テープの巻きかた

同軸ケーブルを接続後、本製品のコネクター部分には、付属の自己融着テープを巻き付けてください。

また、自己融着テープの上から市販の粘着ビニールテープを巻くと、耐候性が高まります。

なお、外部アンテナ側のコネクターには、外部アンテナに付属の自己融着テープをご使用ください。



■ アース線の埋設について

アース線を避雷器に接続後、反対側の先端を地面に埋設した避雷用アースに直接接続してください。

★アースの埋設は、次の点に留意し確実に作業してください。なお詳細は、アースについての専門書をご覧いただくか、専門業者にご相談ください。

- 接地抵抗値は、できるだけ小さくしてください。
- **銅製の棒や板を地面に埋設するなどし、接地電極と土壌**との接触面積を**大きくしてください。**
- 地上高の高いアンテナタワーやルーフタワーなどをご使用の場合は、**それらの支柱部分をできるだけ太い線(断面積**30mm²以上の銅線、**または50mm²**以上のアルミ線)で接地すると共に、タワー上のアンテナ直下に同軸避雷器を取り付けてください。
  避雷器のアースは、タワーを通して接地すると効果的な避雷対策ができます。

■ 定　格

- 周　波　数　範　囲：DC～6GHz
- 絶　　縁　　抵　　抗：DC50Vで100MΩ以上
- 許　　容　　電　　力：10W
- 使　用　温　度　範　囲：−30℃～+85℃
- 公称特性インピーダンス：50Ω
- 衝撃波電流耐量(※1)：(8/20)μS、10kA、1回
- 直流放電開始電圧：90V±30%
- 定　　在　　波　　比：1.3以下
- 挿　　入　　損　　失：0.45dB以下(同軸ケーブルを除く)
- 接　　栓：SMA [J]−SMA [J]
- 防　水　性　能(※2)：JIS保護等級5(防噴流形)
- 重　　量：約58g(L字金具を含む)
- 全　　長：約41mm(避雷器本体)
- 適　合　マ　ス　ト　径：φ32～60mm

(※1)10kA印加で、スパークなどが内部で発生しないこと

(※2)避雷器と同軸ケーブルの接続部に自己融着テープを巻き付けた状態

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、icom は、アイコム株式会社の登録商標です。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-6647X-1J Printed in Japan
© 2008 Icom Inc.